

河川 05

日本最大級のコンクリート杭で 東海道を守ります

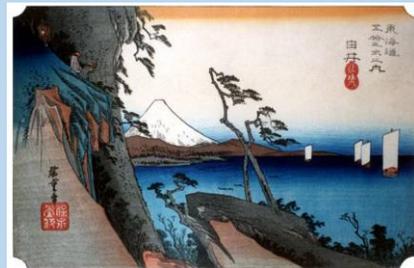
ゆい
由比地区地すべり対策事業



地域はもとより、日本の大動脈（JR東海道線・国道1号、東名高速道路）といった東西を結ぶ重要交通網を守るため、深礎杭などの地すべり対策事業を進めています。

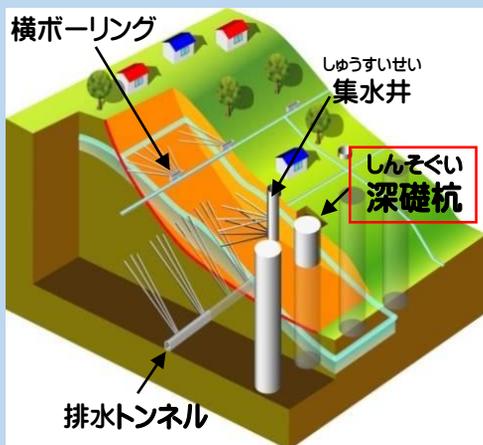
- 静岡県由比地区さった峠は古くから交通の要衝で、浮世絵「東海道五十三次」にも描かれています。
- 現在は重要交通網※1が麓の狭い範囲に集中しており、富士山を背景にした、有名な撮影スポットとなっています。

※1 JR東海道線・国道1号・東名高速



東海道五十三次『由井(さった嶺)』
(保永堂版) 歌川広重
資料提供「東海道広重美術館」

地すべり対策イメージ



地すべり対策箇所と保全対象



深礎杭※1の施工の様子がご覧いただけます。

※1 深礎杭とは、地中に巨大なコンクリートの柱をつくり、地すべりの動きを止めようとするものです。施工中の深礎杭は 直径5mで深さは約70m～80mに及びます。

現場の様子



深礎杭 掘削完了時の様子
(この後、コンクリート杭を施工)



深礎杭 掘削の様子



【問合せ先】 富士砂防事務所 総務課 電話：0544-27-5221

【アクセス】 E1 東名高速自動車道 清水ICより車で約20分（9km）

※道幅が狭いので、大人数の場合はマイクロバスをご利用ください
(小型バス不可)。駐車場から工事現場までは徒歩での移動となります。

X @mlit_fujisabo
(旧ツイッター)



富士砂防事務所HP